

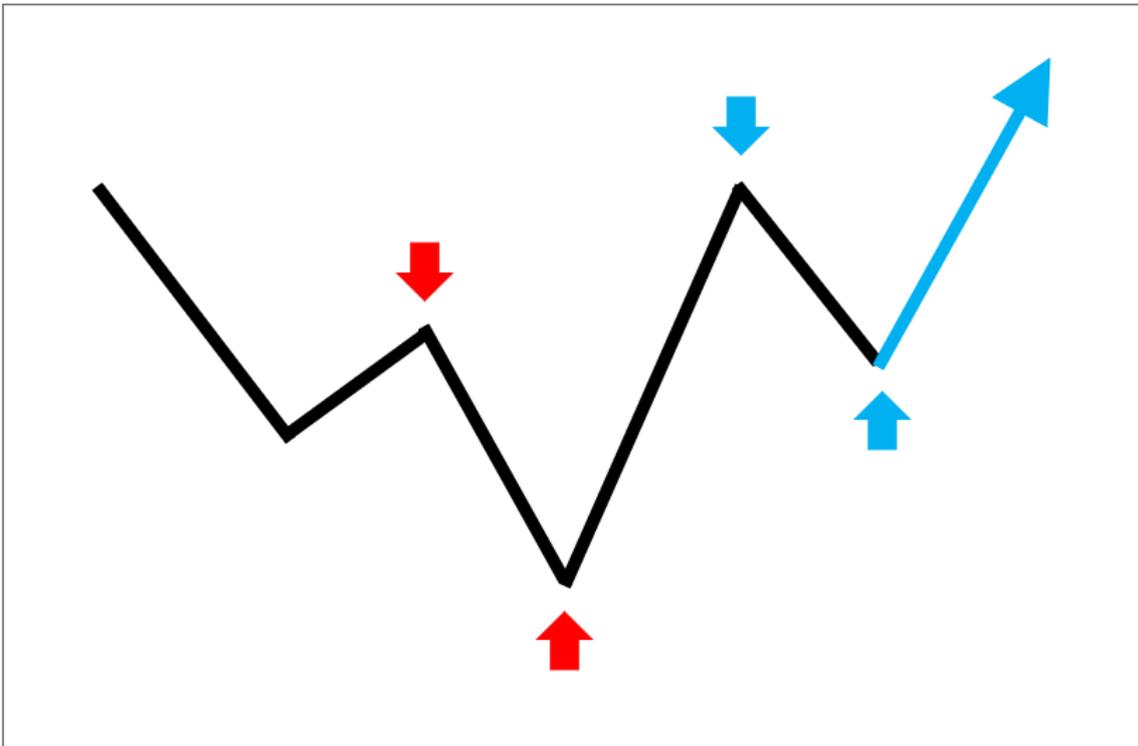
青牛式トレードマスター講座

青牛の鉄板パターン

もうすでにバイブルでご存知かと思いますが、ここでは私の鉄板パターンについて説明していきます。

結論から言うと、私の鉄板パターンは

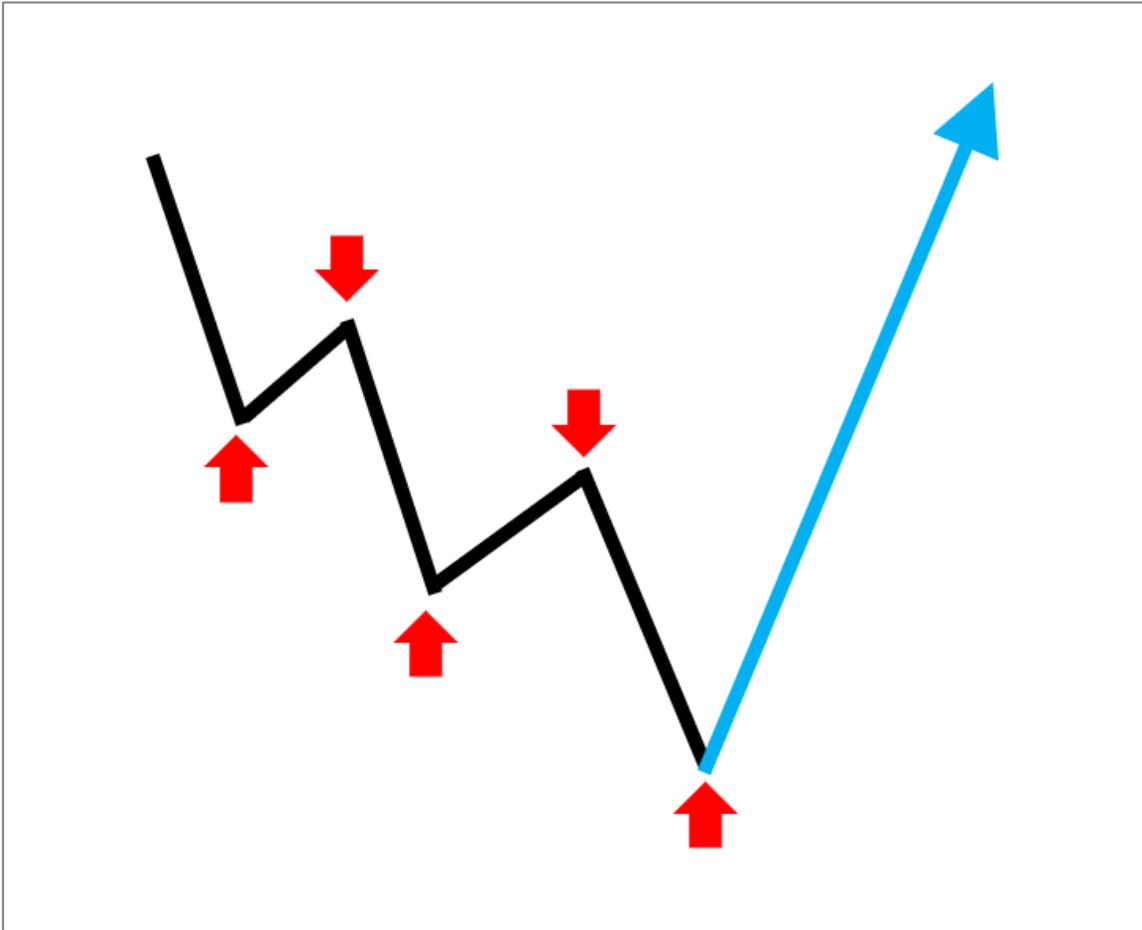
「H1 or M30 スケールでのトレンド転換」



青牛式トレードマスター講座

次に得意なパターンは、

「H1 or M30 スケールでのダウントレンドの終焉を捉える」



の2つです。

青牛式トレードマスター講座

そして、単一の時間足だけでは全く意味をなさないこれらのパターンを認識した時に、その個々のセットアップが複数時間足との複合的な関係から相対的にどの程度の強度を持っているのかをマルチタイムフレーム分析で判断していきます。

つまり、私は買いしかやりませんが、

- ・ H4 以上の時間足でアップトレンドの場合は、かなり強気。
- ・ H4 以上でダウントrendの場合は、見送り。
- ・ H4 以上でアップトレンド下でのレンジ下限の場合は、強気。
- ・ H4 以上でダウントrend下でのレンジ下限の場合は、リスクを低めで。

といった感じで、あくまで全体との調和を図りながらセットアップに対する確度を決定しています。

私がリスクリワード 1 : 15 以上で爆発的に資金を増やすのは、ほぼほぼこういった鉄板パターンでのトレードで、その場合のトレードというのは結果が見えたも同然の勢いで完全にフルレバに振り切った状態でエントリーします。

青牛式トレードマスター講座

あまりにも振り切り過ぎた自分に引き気味になることもあります。こういったメンタル状態でのトレードを可能にしているのは、他のコンテンツでお伝えしてきた「**一貫した手法と徹底した反復**」に他なりません。

どんな手法でも構わないので、自分の鉄板パターンを身につけること。

そして、鉄板たらしめるだけの反復練習を徹底して行うこと。

鉄板パターンを身につける方法は至ってシンプルで、それについては「明確な基準・絶対的なフォームの重要性と身につけ方」のコンテンツで説明しているとおりです。

要は、**細胞が反応するレベルまで徹底して反復するしかない**ということです。



青牛式トレードマスター講座

この単純過ぎる作業を、どれだけの密度と質で愚直なまでに実行できるかが
鉄板パターンを信じ切る絶対的なメンタル形成の全てであると確信していま
す。

あまりにもボリュームが少ないコンテンツとなり少し驚いているのですが、
結局、**やっていることはそれだけシンプル**なのだなと改めて気づかされまし
た。

少しでも参考になれば幸いです。

ありがとうございました。

あをうし